

片瀬だより

令和7年12月25日 発行

編集・発行

片瀬だより編集委員会

藤沢市片瀬3丁目9番6号

電話 29-7171

FAX 25-8907

◎申込みは、片瀬市民センター地域づくり担当(平日のみ午前8時30分～午後5時まで)または電子申請で

生涯学習事業のお知らせ 申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ等をご確認ください。

片瀬市民センター(本館)



知笑の輪倶楽部《要申込》

- ① 箏で楽しむ日本の音楽
日時: 2月4日(水) 午後1時半～3時半
申込: 1月16日(金) から電話または来館にて
- ② 昔、片瀬に天空の遊園地があった!～江の島龍口園を知る～
日時: 3月2日(月) 午後1時半～3時半
申込: 2月13日(金) から電話または来館にて

おひざの上のおはなし 会とわらべうた

日時: 1月9日(金)
2月13日(金)
3月13日(金)
午前11時～正午

Let's Try Katase kids《要申込》

日時: 1月31日(土) 午前10時～正午 「太陽熱風車をつくろう!」
申込: 12月16日(火) から電話または来館にて

新春福寿寄席《要申込》

日時: 1月22日(木) 午後2時～4時
演目: えこ家でん助「井戸の茶碗」 喜楽家笑助「素人義太夫」
申込: 12月18日(木) から電話または来館にて



片瀬しおさいセンター

楽しく子育て《要申込》

- ① 読み聞かせとわらべうた
日時: 1月21日(水) 午前10時～11時半
申込: 1月7日(水) から電話または来館にて
- ② 仲良く親子ストレッチ
日時: 2月18日(水) 午前10時～11時半
申込: 2月4日(水) から電話または来館にて
- ③ 歌と楽器で楽しもう!
日時: 3月18日(水) 午前10時～11時半
申込: 3月4日(水) から電話または来館にて

ようこそ小さな空間 アンソレイユ

日時: 1月5日(月)
2月2日(月)
3月2日(月)
午前10時～正午

おもちゃの病院

日時: 1月17日(土)
2月21日(土)
3月21日(土)
午後1時半～3時半

赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム《要申込》

日時: 3月5日(木) 午前10時～11時半
申込: 2月17日(火) から電話または来館にて



スマホお助け隊《要申込》

日時: ①1月15日(木) ②2月19日(木) ③3月19日(木) 午前9時～正午
申込: ①12月25日(木) ～ ②2月5日(木) ～ ③3月5日(木) ～ 電話または来館にて



←片瀬市民センター/しおさいセンターの生涯学習事業案内

江島神社と諏訪神社の大絵馬

江島神社や片瀬諏訪神社(下社)に初詣にいらした時に、入口にその年の干支が描かれた大絵馬にお気づきのことと思います。

大絵馬は毎年、千葉在住

の日本画家、片岡華陽さんの手により直に描かれています。片岡華陽さんは東京芸術大学で日本画を学ばれ

たのち、作品制作の傍ら各地の神社の額、古来より伝わる絵画の修復などに携わってこられました。



江島神社とのご縁は三十年以上に及ぶそうです。毎年十一月に片瀬に逗留し、江島神社と片瀬諏訪神社の大絵馬を制作されています。江島神社の絵馬には江の島にゆかりのあるもの、諏訪神社の絵馬にはご神木である梶の木の葉や枝が添えられています。令和八年午年の大絵馬が今から楽しみです。



第46回片瀬地区ふれあいまつり

10月18日(土)・19日(日)の2日間に行なり、第46回片瀬地区ふれあいまつりを開催しました。当日は雨が心配されましたが、まつりの間は降ることもなく、たくさんの方が来場されました。

今回は、サークルや地域団体、片瀬中学校など従来の参加者に加え、新たに湘南白百合学園の学生さんの参加や、片瀬中央商交会の協力を得て、盛大に開催することができました。

〔 片瀬しおさいセンター 10月18日(土) 〕



スポレク部会発表会



キッチンカー



「片瀬こま」独楽回し体験

〔 片瀬市民センター 10月18日(土)・19日(日) 〕



音芸部会発表会



片瀬中央商交会



模擬店

ろうそくの灯りに癒されて

10月11日から11月3日まで江の島サムエル・コッキング苑内で「江の島キャンドル」、11月14日・15日には片瀬にある龍口寺で「龍の口 竹灯籠」が開催されました。どちらもろうそくを灯し、秋の夜長を楽しむ催しものです。



「江の島キャンドル」は江の島サムエル・コッキング苑をメイン会場にして、一万本のろうそくの灯りが日暮れと共に来場者を迎え、幻想的な世界に包まれます。来場された皆さんが静かにろうそくの灯りを見ている姿が印象的でした。

一方、「龍の口 竹灯籠」は平成21年まで行われていた「灯籠流し」の代わりに行われるようになりました。



青竹で作られた灯籠約3000基ひとつひとつに故人へのご供養や願いを込めた灯りが灯されます。神奈川県で唯一の木造五

重塔もライトアップされ、静かに読経の流れる中、日常を忘れるひと時を過ごしました。

片瀬・江の島イチョシ浮世絵①

歌川広重（初代）「東海道之内江之嶋路片瀬自七面山見浜辺（しちめんざんよりはまべをみる）」
（制作年：天保五（一八三四）年頃）

この作品はおそらく、広重の出世作となった「東海道五十三次之内」と同じように街道（江之島路）の名所を題材としたシリーズものとして企画されたもののようですが、二図しか確認されていません（もう一枚は、「東海道之内江之嶋路七里ヶ浜江ノ嶋遠望」）。

今回この作品をイチョシとしたのは、何とんでも画題に「片瀬」の地名がはいっているからです。江戸で発行された浮世絵の画題に地元の地名が挙げられているのは、何かうれいというか誇らしいとか…。こうした浮世絵は「名所絵」と呼ばれますが、「風景Ⅱ名所」ではなく、描かれる題材がいろいろな意味で「有名」であることが「名所」の条件となっていました。

図中、左手の旅人が休息している山の部分が「七面山」で、日蓮宗龍口寺の裏山です。同地は日蓮上人法難の地であり（龍ノ口の法難）、中腹には「七面大明神」が祀られています。七面大明神は身延山久遠寺にも祀られている日蓮宗の護法神です。

図は正面奥に江の島を描き、旅人の視線の先には雄大な富士山。眼下には道に沿って片



「東海道之内江之嶋路片瀬自七面山見浜辺」 電子博物館みゆネットふじさわ提供

瀬村の家々が！お寺の三角屋根も見えます。その先、江の島に向かう砂州には、江の島詣での人々が点々と描かれています。

なお、現在龍口寺裏山の頂上に建つ仏舍利塔は、一九七一年（昭和四五年）、龍口寺法難七〇〇年を記念して建立されたものです。

私の散歩道／やすらぐ居場所

私の好きな散歩道の一つは、腰越の家々の路地を抜ける道です。短く細い道ですが、道沿いの家々は少し前まで昔の面影を残し、往時を偲ばせてくれました。

路地の出口から相模湾の遠く遙かに、大島を望むこともあるのですが、夏場はめったに姿がありません。空気が澄む季節になると、山のようなゆったりとした姿を見せてくれ、季節の移ろいを感じさせてくれます。（Ⅰ）



津波避難の状況

7月30日、カムチャツカ半島で発生した大地震による津波警報が発表されました。発表時の片瀬地区における避難先内訳は以下になります。

日頃から災害発生時の避難場所、避難場所への経路などを確認する大事さを知る機会となりました。

○片瀬市民センター	14人
○片瀬小学校	169人
○片瀬中学校	280人
○湘南白百合学園小学校	200人
○湘南白百合学園中学校・高等学校	64人
○片瀬しおさいセンター	148人
○片瀬海岸3丁目津波避難タワー	160人
○その他津波避難ビル	若干名

ふるさと片瀬

～今昔あれこれ～^⑤

中村 喬

「片小卒業と戦後八十年」

一九四五年、日本の敗戦を前にして日本全土に米軍の爆撃機が焼夷弾の雨を降らせた。毎回この連載の挿絵を描いている道子は、当時横浜の西区に住んでいて猛火と黒煙の中を命からがら逃げのびた。

筆者である私も片瀬にいてB29爆撃機が上空を飛び、空襲警報の発令されるたびに母に手を引かれ防空壕に逃げ込んだ記憶が残っている。

昭和十六年には、全国に国民学校令が公布された。第一条には、その目的が「皇国ノ道ニ則リテ初等普通教育ヲ施シ国民ノ基礎的錬成ヲスル」と示されていた。

昭和二十年、我が国は敗戦、昭和二十一年四月、私が片瀬小学校に入学したとき、学校はまだ国民学校という名を残していた。校庭には奉安殿があった。

戦時下の全体主義教育から解放された学校で私たちはのびのびと育てられた。

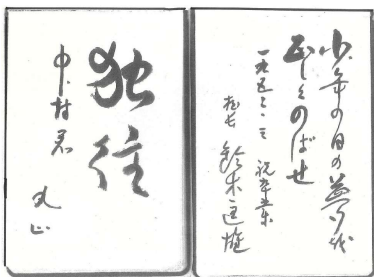
卒業に際して、当時の校長先生は私が持つて行ったサイン帳に「少年の日の夢を正しくのばせ」と墨書で言葉をくださった。教頭先生はやはり筆をもって「独往」としたためて

くださった。

戦後八十年の今、私はあらためてこれらの言葉の重さを実感している。戦意高揚の教育から民主主義教育へと百八十度の転換をした学校現場だ。私たちは教科書の墨塗りをしたが、先生たちおひとりおひとりの思いにも複雑なものがありだったに違いない。「夢を持ち、その夢を正しくのばせ」の「正しく」に校長先生の強い願いがこめられていた。私の胸に深く刺さる。

「独往」の二文字からは自分をしつかりと持つて時流に流されることなく生きよとの、多分ご自分の人生を重ねたであろう先生の心情が伝わる。いずれも我が国の敗戦という重い課題を踏まえてのはなむけの言葉だったのだ。戦後八十年、私の心に生き続ける大切な言葉である。

【体験の重き言葉や年暮るる】



片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

(開室時間)

火・日曜日

午前10時～午後5時

《新刊案内》

「イン・ザ・メガチャーチ」

朝井 リョウ

「鎌倉茶藝館」

伊吹 有喜

「時代小説 ザ・ベスト」

佐藤 雫

「マスカレード・ライフ」

東野 圭吾

「マールブル館殺人事件 上・下」

アンソニー・ホロヴィッツ

「ポケモン生態図鑑」

ポケモン

「剣 時代小説アンソロジー」

池波 正太郎他

紙芝居「ありがとがいつぱい！」

山本 祐司

「こむら返りと手足のつり」

リセット法

「えかきになりたいねずみくん」

北城 雅照

「ぼくたちがデイスレクシアとわかったときはなし」

上野 紀子

濱口 瑛士

生涯学習事業の紹介

「片瀬福寿学校」

11月6日(木)に社会見学でJAXA宇宙科学研究所／相模原キャンパスを訪れました。片瀬諏訪神社を出発し、バスに揺られて約一時間半。到着したJAXAは紅葉が美しく、研究所としての知的な佇まいが印象的でした。開放感溢れる食堂で昼食を取った後は、JAXAの向かいにある相模原市立博物館に行き、充実した展示を楽しみました。

その後JAXAに戻り、宇宙科学探査交流棟を見学し、宇宙研究の成果を実感することができました。参加した方からは、その迫力に「やはり実物は凄い」「宇宙技術とその発展に驚く」といった感想をいただきました。果てしない宇宙の魅力に心躍る社会見学となりました。



編集後記

身体に堪える程の夏の日差しを避けながら、密蔵寺前に来た時、女性の方が「この近くに、タブの木があったのですが、わかりませんか」と尋ねてくれました。タブの木のひこばえと思いき木を教えてあげました。来年は午(うま)年、落ち着いたゆるやかな日々が続いて欲しいと願います。皆様も、良い年をお迎えください。(I)